



海風

UMIKAZE

Vol. 24

Chiba-Minato Rehabilitation Hospital Report

Contents

- 2P 新年度あいさつ・入職式
- 3P 新任医師紹介
- 4P・5P 職員新入職者の紹介
- 6P 訪問リハの案内・ミニコンビニオープン
- 7P 入院統計データ
- 8P My SDGs・行事食

2022





リハビリテーション科 課長
吉野 雄志

新年度 あいさつ

新年度がスタートし、今年度もたくさんの新入職員をお迎えすることができました。人と人との繋がり価値が高まる昨今、元気で生き生きとしたエネルギーに満ち溢れている皆さんをお迎えでき、職員一同、大変嬉しく思います。今はまだ、喜び、期待、緊張、ふあん、さまざまな思いを抱えているとは思いますが、一日も早く職場に慣れ、思う存分、若い力を発揮して下さい。プロ野球では約28年ぶりに完全試合を達成しました。立役者の彼らは、プロ3年目の佐々木朗希投手(20歳)と1年目の松川虎生捕手(18歳)の非常に若いバッテリーでした。当病院でも、皆さんの後ろには多くの先輩たちが守備についています。しっかりバックアップします。経験がないからと臆することなく貪欲に、柔軟に、がむしゃらに広い視野でいろんなことを学んでいってください。また、皆さんの自由な発想と若い感性で、先輩達を大いに刺激してください。

患者様、ご家族様にとってより安心安全で質の高いリハビリテーション医療を提供できますよう、病院職員一丸となって頑張っていきましょう！
センパイ一同より



相羽陽介医師 をご紹介します



Q 出身地はどこですか？

A 静岡県浜松市というところです。

Q 趣味は何ですか？

A 凝り性で以前は趣味が多く、様々なことに興味を持っておりましたが、近年はあまり時間が取れずできませんでした。その中でも、今でも趣味として続けていることは、NBA(アメリカのバスケットボールリーグ)観戦です。ボストン・セルティックスというチームをずっと応援しています。野球・サッカー好きはよくいるのですが、中々周囲にこれを趣味にしている方は少なく、ご存知でしたらぜひお声かけ下さい。また、コロナ感染の影響で外出が出来ず、結果として、料理も趣味になりました。大学時代、自炊は全くできず、ほとんど毎日ハンバーガーと牛丼しか食べていない生活といっても過言ではなかった自分が、思い付きで始めたスパイスカレー作りを皮切りにいくつか作るようになりました。男料理として豪快に作った方がカッコいいと信じこんでいた自分が間違いだったことにこの歳になって気づかされました。

Q 医師としてのモットーをお聞かせください

A 目の前の患者さんにとって、今できる最善を尽くすことです。

Q 今後の抱負をお願いします

A 今まで自分は急性期医療しか経験したことがなく、その後の本人らしい生活を取り戻し、帰るまでの過程を知りませんでした。リハビリテーション医学を学び、その後の患者さんの生活を支えていけるように尽力したいと思います。

新任紹介



看護部長代行 會田 知子

私は、令和2年5月に当院に副看護部長として入職し、今年4月1日付で看護部長代行となりました。回復期リハビリテーション病院で勤務するのが初めてでしたので、当初は戸惑いもありましたが、多職種が協働し患者様に集中的なリハビリテーションを提供し在宅復帰へつなげていく、地域医療に貢献している回復期リハビリテーション病院の重要性を日々実感しております。看護管理者として、更なる病院の発展に尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



事務長代行 中野 一樹

4月1日(金)令和4年度入職式を開催致しました。転籍者、中途入職者含め32名の新しい仲間をお迎えしました。なかには新社会人もおり、緊張感が伝わってきました。グループ病院の病院理念でもある「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」を常に意識し、患者様が一日でも早く社会へ復帰されるよう、職員一同、精いっぱい努力してまいります。これからも皆さまのご支援、ご指導を賜り地域の方から更に必要とされるよう千葉みなとリハビリテーション病院は職員一丸となって安心安全な医療を提供してまいります。どうぞ今年度もよろしくお願い申し上げます。

新たな仲間が
加わりました!!

新入職者の紹介



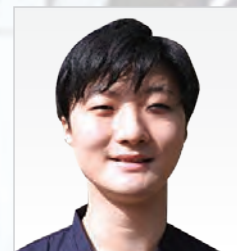
看護部 3階病棟
M.R

看護師になるという夢を叶え、4月から千葉みなとリハビリテーション病院に入職することができて本当に嬉しく思います。
私は、回復期ならではの患者様の葛藤や苦しみを理解し、少しでもその気持ちをやわらげ、患者様が前向きにリハビリテーションができるような看護をしていきたいです。
また、退院の際には患者様とご家族様がこの病院に入院して良かったと思って頂けるような関わりをしていきたいと思っております。仕事に対して不安や緊張は沢山ありますが、看護師として精一杯頑張ります。



看護部 2階病棟
M.M

私は急性期、慢性期の混合病棟で7年間勤務してきました。
今回、次のステップアップとして社会復帰、在宅復帰へ向かう患者様とご家族様への看護を学びたいと思い、回復期リハビリテーション病院への入職を希望しました。入職を終え、しばらくは不安と緊張の日々が続くと思いますが、チームの一員として力になれるよう、職場環境に慣れ、業務を覚えていきたいです。
また、患者様に笑顔で接することを心掛け、身体面、精神面のサポートをしていけるよう自己研鑽に努めていきたいと思っております。



リハビリテーション科 作業療法士
S.K

春には満開の桜が海風によって桜吹雪を舞い散らす光景を眺めながら、慣れ親しんだ千葉みなとの景色の中で、この春より千葉みなとリハビリテーション病院に入職させて頂きました。人生の先輩である患者様に会える事、そして多くの事を学べる機会を頂いた事を心から感謝しております。人は心が動けば体も動くという言葉に胸に作業療法士として先輩方から学ぶ経験や自己研鑽を積み、また、ご本人様やご家族様の心に寄り添い、普段の日常生活動作を再獲得できる様、十分な知識と技術から安全なリハビリを提供する作業療法士になりたいです。



リハビリテーション科 言語聴覚士
A.Y

話すことや食べることを中心にリハビリを行い、他のリハビリ職とは違い全身と関わる機会が少ない言語聴覚士ですが、実際の現場ではベッドから車椅子への移乗、トイレ介助など患者様の体にたくさん触れる機会がある事を知りました。学校や実習でも学ぶことが無かったのでこれから患者様が安心してスムーズにリハビリに挑めるようリハビリの知識だけでなく、患者様の全身について知ろうと思う機会を頂きました。また患者様が不安なことや困っていることを会話などから引き出すことが出来るような親しみのある言語聴覚士になりたいです。

訪問リハの案内

在宅生活の支援

当院では在宅生活の支援を目的に訪問リハビリを実施しています。トイレや入浴などの日常生活の動作ができるようになる、近所のスーパーなどへの買い物や外出ができるようになる、病前に行っていた仕事へ復帰する、など目標は様々です。

また、諦めていた家族旅行をすることができた方もいらっしゃいます。具体的な目標を設定し、イメージしながらリハビリを実施することでその方らしい生活が長く継続できるようサポートしていきます。

退院後の訪問リハビリをご希望の方や興味のある方は、お気軽にお声掛けください!!



皆様のご要望にお応えして

NEW ミニ
コンビニ オープン!!
OPEN

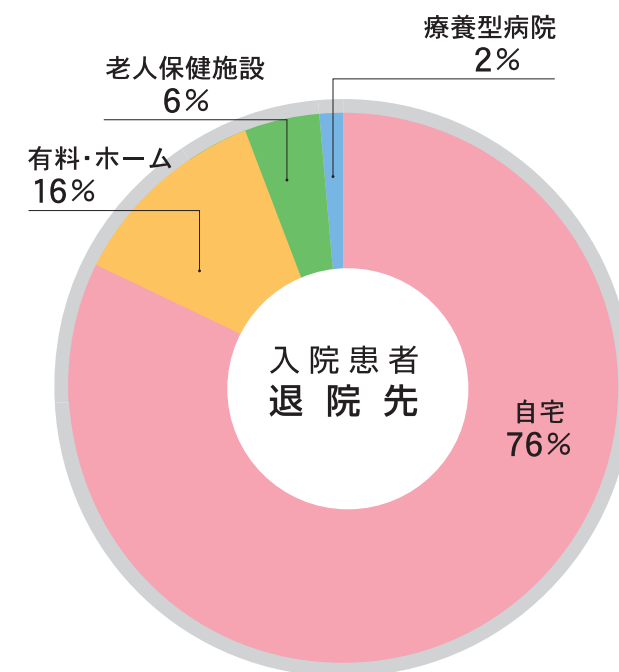
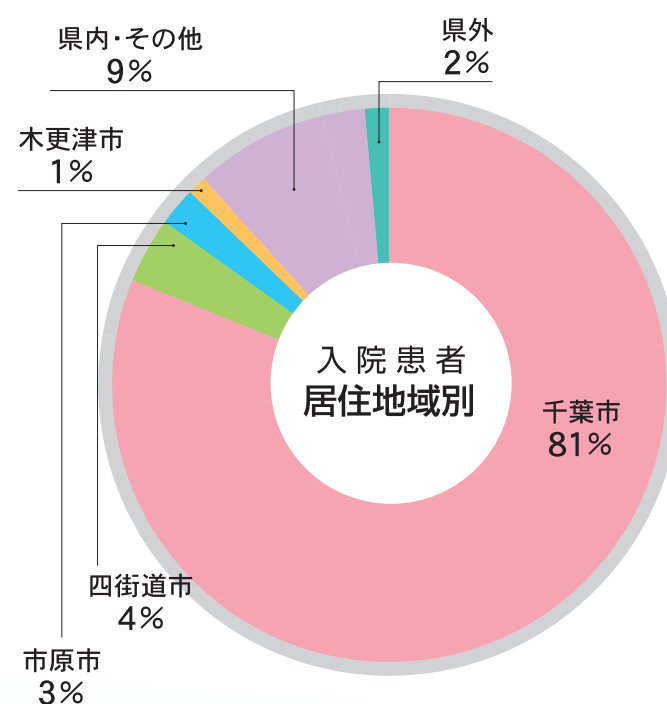
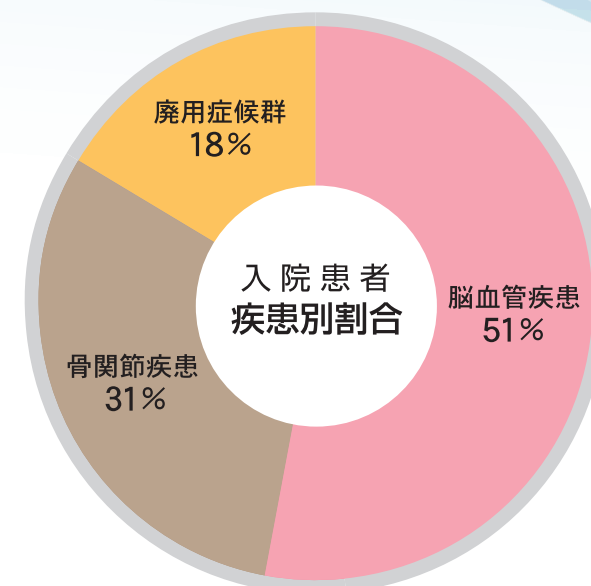
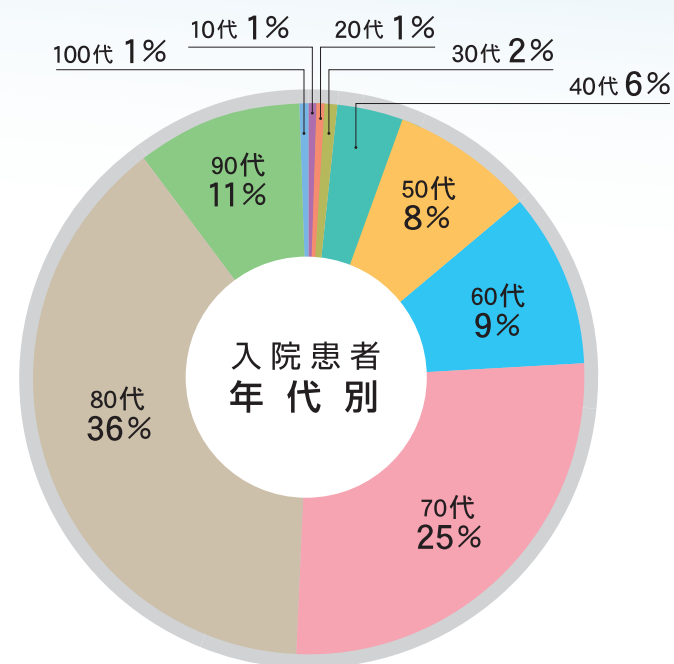
2月中旬に当院正面玄関の院内入口脇にミニストップポケットを設置いたしました。販売方法としては、無人販売でお支払いは電子マネー決済のみとなりますが入院外来患者様、ご家族様や職員もご利用頂けます。食品、飲料の他、日用品なども取り扱っています。

皆様からのご要望で設置出来ましたので、ぜひご利用してください。

入院統計データ

令和3年4月～令和4年3月 患者数764人（再入院除く）

平均年齢
73.8歳



患者1人あたりリハビリ提供数	平均入院日数	新規入院患者の重症度割合	重症患者改善率
8.85 単位	82.0 日	40%	75.5%
日常生活自立度 (FIM)	入院時平均	退院時平均	利得平均(回復度)
	54.0	86.0	32.0

在宅復帰率
92.6%
※急性期への転院除く

My SDGs



芽が出る鉛筆

アメリカMITの学生グループが発明し、デンマークにあるスプラウト社から商品化した植えられる鉛筆。現在まで世界80ヶ国以上で約3,000万本以上が販売されています。短くなって使えなくなった鉛筆...捨ててしまうのはもったいない。スプラウトペンシルは捨てるのではなく土に植えて新しい命に繋げることができます。そしてみなさんを再び楽しませられる植物へと生まれ変わることができます。身近なエコ活動...みなさんもはじめてみませんか？

2月

行事食

メニュー

- ・ライス
- ・ポトフ
- ・ポークソテー (赤ワインソース)
- ・サラダ
- ・ショコラムース



バレンタインなのでデザートにはショコラムースを提供させて頂きました。患者様からは、ポークソテーの赤ワインソースが美味しかったと大変好評でした。

3月

行事食

メニュー

- ・ごはん
- ・すまし汁
- ・金目鯛の煮つけ
- ・胡瓜の酢の物
- ・茶碗蒸し
- ・抹茶ババロア



冬から春にかけて一番脂がのって美味しい金目鯛を使って煮つけを提供しました。患者様にも大変好評でした。

千葉みなとリハビリテーション病院 広報誌

海 UMIKAZE 風 Vol. 24

令和4年 5月発行

企画
発行所

千葉みなとリハビリテーション病院
広報委員会

千葉県千葉市中央区中央港1丁目17番18号
TEL: 043-245-1555 / FAX: 043-245-1558



駐車場に限りがございますので公共交通機関のご利用をお願いします。

- 電車 千葉みなと駅(JR京葉線・千葉都市モノレール)より徒歩10分
- バス 千葉駅西口・千葉ポートタワー行26番のりば「県立美術館入口下車」